

国際共同研究交通費補助 研究成果報告書

(適宜行追加可)

所属・職・氏名	商学部・教授・伊藤秀和
共同研究者 所属・職・氏名	Thammasat Business School, Thammasat University, Professor, Ruth Banomyong (PhD) IFSTTAR, Universite Gustave Eiffel, Researcher, David Guerrero (PhD)
研究課題	新興工業経済地域における自動車部品物流の高度化が地場企業に与える影響
共同研究 実施期間	派遣期間： 2024 年 7 月 28 日 ～ 2024 年 8 月 15 日 招聘期間： 年 月 日 ～ 年 月 日
共同研究 実施場所	タイ・バンコク及びサムットプラーカーン・チョンブリー・ラヨン

1. 研究の成果（本共同研究によって得られた新たな知見、成果等を簡潔に記述してください。該当しない場合は「該当なし」と記載してください。）

(1) 学術的価値（本研究により得られた新たな知見や概念の展開等、学術的成果）

本派遣期間では、タイ・バンコクを中心に自動車の組立メーカー・部品サプライヤー・物流企業を対象に、自動車部品の調達物流に関するヒアリング調査および生産工場や物流施設の見学を行った。日本国内で過去に行った調査結果と比較して、生産車種やその多様性（メーカー・オプションの種類）などの違いから、タイでは部品発注のリードタイムが長く、またそのロット・サイズ（一回当たりの発注量）が多いことが理解できた。特に、基幹部品の一部を海外（日本・中国・周辺国）から調達していることもあり、数週間（日本では数日）単位で発注されている実態を理解できた。

また、電動化について、タイにおける自動車に対する消費者ニーズやその使用年数の違い（相対的に長い）など、先進国とはかなり異なる市場構造が明らかとなり、また現在は金融ローンの厳格化などから、（昨年までの需要増大と異なり）頭打ちの状況が理解できた。

(2) 相手国との交流（海外の研究者と学術交流することによって得られた効果）

上記のヒアリング調査・現場見学と並行して、共同研究者らとタイ工業連盟 (Federation of Thai Industries) に対するアンケート調査の最終確認を行った。今後は、Banomyong博士を担当者としてアンケート調査を実施する。

(3) 社会貢献（社会の基盤となる文化の継承と発展、社会生活の質の改善、現代的諸問題の克服と解決に資する等の社会的貢献）

(該当しない)

(4) 若手研究者養成への貢献 (若手研究者養成への取り組み、成果)

(該当しない)

(5) 将来発展可能性 (本研究を実施したことにより、今後どのような発展の可能性が認められるか)

バンコク日本人商工会議所を窓口に関タイ日系自動車関連企業に対して行ったアンケート調査、およびタイ工業連盟を窓口に関(タイ国内の)自動車関連企業に対して行うアンケート調査を参考に、現在、中国国内企業に対するアンケート調査を検討している。BNU-HKBU United International College (UIC) のAdolf Ng博士を共同研究者に加え、調査設計を開始した。

(6) その他(上記(1)～(5)以外に得られた成果があれば記述してください。)

例：大学間協定の締結、他事業への展開、受賞、産業財産権の出願・取得等

(該当しない)

2. 研究発表(本共同研究の一環として発表(予定含む)したものについて記述してください。なお、印刷物がある場合は1部添付してください。)

例：共著論文、口頭発表、出版、ポスター発表

(該当しない)